

第40号記念誌

GYODA CITY

スポーツ推進委員だより

- 発刊：行田市スポーツ推進委員協議会
- 発行者：広報部会長 堀 賢司
- 発刊日：平成31年3月吉日



所沢市スポーツ推進委員 交流大会



新春ウォーキング

市民の皆様には、日頃スポーツ推進委員協議会の活動に対しまして、ご理解と、ご協力を頂き心より感謝申し上げます。この度、「第40号 行田市スポーツ推進委員だより 記念誌」を発刊する事となりました。本号では、協力事業やスポーツ推進委員協議会の自主企画活動・研修会の様子を中心に掲載してあります。また、平成31年の「だより」となりますので、ご一読頂ければ幸いです。

次号以降もスポーツ推進委員32名のスポーツに対する取り組みや活動の様子を掲載してまいりますので、市民の皆様には心強い励ましと更なるご協力をお願い致します。

スポーツ推進委員協議会は、「思いやりと明るく楽しい活動」をモットーに全員一丸となり市民の皆様スポーツニーズに応じて行ける様に取り組んでまいりますので、皆様方のご指導、ご鞭撻をよろしくお願い致します。

行田市スポーツ推進委員協議会 会長 玉木 民雄

第68回行田市市民体育祭

平成30年10月28日(日)

研修部会 小松 裕幸

平成30年10月28日(日)に行田市総合公園自由広場で第68回市民体育祭が開催されました。

今年は晴天に恵まれ、体育祭日和の中行われました。

私、小松は今回初めて準備運動係を担当しました。やはり朝の開会式から緊張しましたが、この日の為にラジオ体操の練習を重ねて本番では練習以上の成果が出来ました。また、この体育祭当日の為に係りや役員ごとに分かれて幾度も準備、練習を重ねてきました。私も召集引率係として入場門から選手を気持ち良くスタートラインに引率し、ゴールから頑張った選手を労う気持ちで退場門へ誘導する事を心掛けました。朝の競技から各地区の熱い接戦が続きましたが無事に終わりました。

指導部会 池谷 智久

競技が始まると各体協優勝を目指し、怪我を顧みず、必死に戦っている選手達、それを応援しているテントにいる人達の一体感、去年中止になってきているせいか今まで以上の熱気を感じました。

今年は、退場門に向かってくる選手たちの動きがゆっくりだったのか誘導したつもりでしたが結果的には選手を退場門の外に出すのに時間が懸かってしまう事になってしまいました。

今回の反省点を生かし新たな気持ちで臨み、ミスやトラブルのない大会運営をしていきたいと思えます。

第59回東日本実業団対抗 駅伝大会

平成30年11月3日(土・祝)

指導部会 吉田 明正

平成30年11月3日(土) 東日本実業団駅伝競走大会が晴天の下、開催されました。埼玉県庁をスタートし、熊谷スポーツ文化公園陸上競技場まで7区間7.5キロを実業団チームが出場して行われました。

私たちスポーツ推進委員はJR行田駅前吾里山交差点の大会コース及び周辺道路において、警察官の交通規制の補助、一般車・歩行者への協力依頼を行いました。

JR行田駅前17号交差点は人の行き来、車両の交通量も多く、関係者以外の方の協力なくして目的を遂行する事は出来ない状況でしたが、私達スポーツ推進委員は、自覚と責任を持ち、大きなトラブルもなく対応誘導ができたと思えます。

今後一層の安全かつ円滑な誘導を心がけ、ランナーの力走を支えていきたいと思えます。



第20回行田市障害者(児)スポーツ・レクリエーション大会

平成30年11月10日(土)

広報部会 杉山 昭二

参加する障害者(児)の方やボランティア、介護する方々は、280名を超え、その方々は、25チームで5会場に分かれ、風船バレー、卓球バレー、ポッチャ、レクリエーション(フライングディスク・ストラックアウト、フライングディスク・フラフープ通し、輪投げ、フロッカー転がし) STなどの種目を体験していただきました。

フロッカーが意外に思うところに行かないことで、却ってストレスがたまりはしないかと心配いたしました。参加された方は、何にでも前向きで、積極的な方が多く、楽しそうに種目をこなしていました。

私は、そういう意味では概ね所期の目的は達成できたのではないかと思います。

私が本大会への参加を通して感じたことは、やはりこのようなスポーツを通しての健康者や障害者(児)やお世話をする方々との分け隔てなく、垣根を超えた交流と理解を深め合う場が、もっともっと必要であることを改めて感じました。



第62回浮き城のまち行田 駅伝競走大会

平成30年12月2日(日)

指導部会 青木 仁

一般男女から小学生男女まで全166チームが参加し、総合運動公園内で1150mと3000mで白熱した競走が繰り広げられました。

私たちスポーツ推進委員も、今年は参加チームが大幅に増加した為、例年以上に、選手の安全確保を考えて、選手受付、選手招集、選手誘導、走路観察、中継所整理等の任務に就きました。結果大きな事故もなく大会を終えることができました。

私は召集誘導係を担い、中継所に滞りなく誘導できるように、各係で指示・意見を出し合い連携を図りスムーズに中継ができたと思えました。ただ、中継地点付近の混雑やコースの横断等、改善が必要と思うところもありました。

私は3年連続で役員・選手として参加しました。今後も参加者が、安心して楽しく襷をつなげる大会であるように協力していければと思います。



新春ウォーキング

平成31年1月13日(日)

研修部会 松本 健治

今年最初の行事です。前回の鉄剣マラソン大会の問題点や課題の検証、変更になったコースの把握、ランナー目線で見た今回のコースの危険箇所などの確認を各委員が意見交換を行いながら、3時間あまりの時間を掛けて踏査を行いました。ウォーキング終了後、古代蓮会館で昼食を済ませ、踏査で感じた感想や問題点、今回の大会参加者数などの大会情報を再確認しながら意見交換を行い、問題点の対処方法を話し合いました。

毎年行われるコース変更の把握やコースの状態変化の確認などを実際歩いて行う踏査は、ものすごく大切な事だと実感しました。スポーツ推進委員一人一人が考えて行動し、大会役員との連携を図り、参加者全員が満足して頂ける大会になるよう万全の体制を取って臨みたいと思います。



第30回行田市なわとび大会

平成31年1月27日(土)

研修部会 福島 正和

第30回行田市なわとび大会が行田市総合体育館にて行われました。

当日は、市内の小学生362名が参加し、それぞれの目標に向かって一生懸命飛び続けた平成最後の素晴らしいなわとび大会となりました。

スポーツ推進委員からは学童スポーツ団体連絡協議会理事に任命されている小松委員と私が参加し、開会式では司会と準備運動をそれぞれ担当し競技中は共に審判を務めました。

今回の大会では、2種目で大会新記録が生まれました。

友達や先生・保護者の声援を受けて一生懸命とび続けたなわとび大会は怪我もなく無事に終了しました。今後も、競技役員の方々と協力し子供たちが日頃の成果を発揮出来るようにサポートしたいと思います。



第86回埼玉県駅伝競走大会

平成31年2月3日(日)

指導部会 新井 徹

埼玉県駅伝競走大会にスタッフとして参加させて頂いたのは今回で3度目となります。今回は、国道沿いを担当し、警察の方と連携しながら、主に車の規制や歩行者横断の誘導などを行い、大きな問題も無く終える事が出来ました。

現役時代は、レースに集中する事だけを考えて出場していましたが、スポーツ推進委員として大会運営に携わる様になり、どの大会も多くのスタッフの方々の支えがあるからこそ実現しているのだと実感するようになり、今後も当時のスタッフの方々への感謝の気持ちも含め、全力で頑張っている選手の方々が安心してレースに集中できる環境作りのお手伝い出来るよう努めていきたいと思っています。



北埼玉地区交流大会

平成31年2月10日(日)

広報部会 小林 正樹

加須市騎西総合体育館(ふじアリーナ)にて、北埼玉地区交流大会開催に向けての研修会が加須、羽生、行田市三市のスポーツ推進委員が参加して行われました。

誰でも、いつでも、どこでも、いつまでも気軽に自由に楽しめる「ニュースポーツ」の大会を開催するために、「ヘルスパレーボール」を体験しました。

審判では、判定に迷ったり、笛が小さくてブレーを止めることができなかったりで、反省するところが多々ありました。今後、ヘルスパレーボールを普及させていく上では、私たちスポーツ推進委員がルールをしっかりと把握し、経験値を積み上げていかななくてはならないと感じました。

この反省を踏まえて、正確な判定と試合がスムーズに進行できるように努力していきたいと思っています。



スポーツ推進委員自主研修

平成31年2月16日・17日(土・日)

指導部会 堀口 和彦



1日目は、所沢市民体育館の施設見学として役員の方に案内していただき、規模の大きさや無垢材を使用し環境にも市民にもやさしい施設であることを感じました。その体育館で所沢市スポーツ推進委員の熱烈な歓迎を受け、交流大会へ参加しました。競技種目の「さいかつボール」を所沢市11チームと行田市2チームの計13チームで予選、決勝と熱戦が繰り広げられました。

2日目は、所沢市内のウォーキングを24名で行いました。平坦な道と高低差のあるコースで次第に脚に疲れがたまってきます。担当地区では、山でのハイキングが多いのですが、市街地の散策も一つの候補にあげてもいいかなと感じました。

二日間を通して他地域との交流をはじめ、推進委員同士の親睦がさらに深まり、「目くばり、気くばり」の重要さも改めて感じた実のある研修となりました。

第5回行田ふれあいドッチビー大会

平成31年2月23日(土)

指導部会 浦邊 英樹



行田市総合体育館メインアリーナにて第5回行田ふれあいドッチビー大会を開催しました。市外から加須平成中学校陸上競技部チーム、地区体育協会チーム、一般チームと小学生チーム、あわせて7チーム総勢117人による熱い戦いが繰り広げられました。競技は1試合前・後半各7分で各コート一音にスタート。競技が始まり、試合が進むにつれ選手、応援に熱が入ってくると、相手陣地を仕切る線を踏んでディスクを投げてしまうなどのファウルが頻発して、ここで重要なのが審判のジャッジ。審判の笛の音も届きづらいほどの盛り上がりの中、私の笛の音が弱いためゲームがそのまま進んでしまうこともありました。審判の技術を高めることで、競技を思う存分に楽しんでいたできるように、盛り上げていきたいです。

平成30年度各地区のスポーツ教室開催報告

1	忍	フロアカーリング	6	長野	ウォーキング グラウンドゴルフ	11	星宮	バドミントン・ソフトバレー スポーツ吹矢
2	行田	グラウンドゴルフ	7	荒木	バドミントン・ヘルスパレー フロアカーリング・卓球	12	太井	フロアカーリング ソフトバレー・ヨガ・他
3	佐間	フロアカーリング・ヨガ	8	須加	卓球・カーレット	13	下忍	ヘルスパレーボール
4	持田	フロアカーリング・ミニテニス	9	北河原	ヨガ	14	南河原	グラウンドゴルフ
5	星河	骨盤体操	10	埼玉	ソフトボール・ウォーキング ソフトバレーボール・他	15	太田	バドミントン・ヘルスパレー グラウンドゴルフ

◇編集後記◇

第40号スポーツ推進委員だよりの発行にご協力いただきました皆様に感謝申し上げます。

本号は平成最後の記念号になります。新元号となる来年度も中身の濃い紙面づくりを目指し、日々精進してまいります。これからもご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

【問い合わせ先】

行田市スポーツ推進委員協議会事務局
行田市教育委員会スポーツ振興課
(TEL556-8336)
スポーツ推進委員協議会 広報部会一同



左から堀田副会長、須永委員、篠崎委員
行田市市制施行69周年文化の日
功労賞受賞



左から2番目 玉木会長
全国スポーツ推進委員研究協議会
鹿児島大会 功労賞受賞